
自分的幽霊の作り方

村上コウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自分の幽霊の作り方

【Nコード】

N3229Z

【作者名】

村上コウ

【あらすじ】

『死んだらどうなるのか？』それは、生きている、だれしもが考えることだと思えます、では、もし幽霊になったら？これは、誰かが考えた死後の世界の女の子のお話・・・

人は死んだらどうなるのだろうか？

誰しも考えることであることだと思えます。

ワタシも、一人になったときなどに考えたりしました。

『自殺したら？』

事故にあつたら？

誰かに殺されたら？』

誰かが悲しんでくれるのか？

ワタシがいなくてもいいのではないか？

この気持ちはどこに行くのか？

ワタシの宝モノはどうなってしまうのか？

しかし、

多くの人たちは、死んだら『無』になるなどと、吐っていました。
ワタシも、そうなるのだろうかと思っていました・・・

『無』ならば、死後など悩むだけ現実逃避ではないか、と、

しかし、どうでしょう、

ワタシは今もワタシについて考えられています。つまり、まだ思考
しているのです・・・これはワタシの思い描いていた『死』無』な
どではなく、

ワタシは他人が見えるのに、聞こえるのに、思えるのに、みんな、ワタシが見えず、声が聞こえず、忘れていく世界を眺めることが

苦しみでしかないのです。

人は簡単に死んでしまいます、しかし、それは出来事であり、まだ経過なのです。ワタシにとって、ワタシのいない世界は『逝き地獄』でした。

そして、ワタシは願ったのです。

『まだ死にたくない』

と、

そして、カノジヨが現れたのです。

「その願い叶えてあげる。」

「ただし、あなたがいる世界は一人分しか作れないよ。」

言っていることがよくわかりませんでした。ワタシはうなずきました。

「じゃあ、誰にあなたが忘れられたくない人は誰？」

ワタシはすぐさま、好きだった人の名前を挙げてしまいました。

「ホントにその人でいいの？」

「わかった、じゃあ、あなたの願いを叶えるよ。」

彼女がいなくなり、その人に会うと、その人とはワタシの声が聞こえ、ワタシの姿が見えるようになっていました。

そのことがうれしく、頻りにその人に話しかけ、触れようとし、生きていた時は届かない思いを届けようと思いました・・・

しかし、その人は、ワタシの声が聞こえるたび空気とともに震え、ワタシの姿が見えるたびその影におびえるのです。

そして、その人が苦しんでいる姿を見て気付いたのです。

『まるでこの人にとり憑く悪霊ではないか』と、

そして、わかったのです。

人は死んだら幽霊になってしまうのだと

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3229z/>

自分的幽霊の作り方

2011年12月11日04時55分発行